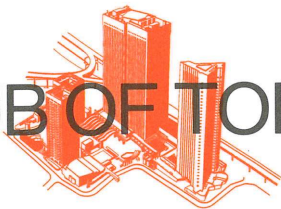




# THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



## Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

「ロータリーで喜びを！ー参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもうー」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ/ビチャイ・ラタクル会長

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ/吉田用親会長

### 【本日の例会】 7月19日 第755回例会

◎卓話 イニシエーションスピーチ

「アメリカから見たアジアに於ける日本」

当クラブ会員

(株)タフ・コーポレーション 代表取締役  
藤後 幸生 君

### 【先週報告】 7月12日 第754回例会

#### ◎幹事報告

本日BOXに上期会費の請求書を入れましたのでよろしくお願い致します。また併せて忘年家族会費(会員会費25,000円)を出欠に拘わらず請求させて頂きましたので、ご承知お祈り致します。

#### ◎慶事披露

誕生日祝い/西澤正雄君・大日方真君(7月12日)

#### ◎出席報告

会員66名/出席45名・欠席21名(出席規定免除者6名)  
ビジター1名、ゲスト1名(米山奨学生・党偉榮さん)

### 地区ロータリー財団事務手続説明会

国際奉仕委員長 小原 健

2002-03年度ロータリー財団に関する事務手続説明会が、7月11日(木)午後3時から、日本橋の株式会社コーセー会議室で行われた。参加者はほぼ全員が事務局員(つまりほとんど女性)で、それ以外は地区委員の方々であった。

事務局に対する説明会であり、もっぱら事務手続上の事項が説明された。いささか場違いな感じではあったが、結果的には普段触れることのない内容であったので、その分かっていたためになったとも言える。

説明会の席上強調されたのは、各種事務手続きのほか、本年度は大型寄付を何とか獲得してほしいということ、ロータリー財団の友(毎年100ドル以上の寄付をするという誓約書を差し入れる)の獲得に力を入れるということであった。

なお、ロータリー財団の友制度が導入されるので、本年度から準フェローという呼称はなくなるということであった。また、従前は、ロータリー財団から同額補助金が交付されるというシステムであったが、本年4月からは、半額補助ということになり、名称も「パッチンググラント」に変更されたということであった。

化粧品のお土産をもらって退出。有意義な1日であった。



7月12日/15件 37,000円

2002～2003年度累計 100,000円

多額の御寄付を有難うございました。

齊藤茂之/本年度もよろしくお願い致します。武下朗/昨日地区情報委員会に出席し、会費を立て替えたところ、本日事務局よりいただきましたので、ニコニコに入れます。大日方真/今日が誕生日です。タイムリーにお祝いをいただきました。柴本芳郎/新役員、理事の皆様本年もよろしく。村山公士/遅ればせながら、吉田年度がんばって下さい。吉岡琢磨/ジョンさん、今日のイニシエーション楽しみにしてます。紹介させて頂きます。河原勢自/大日方会長、新保幹事その他の皆様ご苦労様でした。吉田・吉岡のYYコンビ、理事役員の方、一年間よろしくお祈り致します。入沢頼二/ジョンさん、イニシエーションスピーチ、誕生日祝、ソングリーダーと、盆と正月が一緒に来たようですね。後藤完夫/暑くなって来ました。帽子をかぶりましょう。圓谷正和/先週の週報未配達事件ではご迷惑をお掛けしました。村山さんには大変お世話になりました。西澤正雄/暑中お見舞い申し上げます。本日はお誕生日祝いを頂き有難うございました。おかげ様で元気で齢を重ねています。渡邊治/吉田丸の船出を祝して。よろしく御願いたします。加藤昌明/お暑うございます。岸義武/馬場先生ニコニコごころうさまです。馬場一廣/この1年ニコニコご協力よろしくお祈り致します。

### 地区社会奉仕・環境保全クラブ委員長会議報告

環境保全委員長 石井 謙次

去る7月11日、京王プラザホテルにて松崎ガバナー同席のもと、第2750地区社会奉仕・環境保全委員長会議が開催されました。

杉山社会奉仕委員長、片桐環境保全委員長のクラブ活動計画の説明に続き、欠野カウンセラーの講評で前半は終了しました。

後半は立正大学名誉教授 福岡克也先生の環境卓話「経済と環境について」というタイトルでわかり易く、またユーモアあふれる講演が行われました。引き続き今年度の地区環境事業計画案(仮称)「新世代環境フォーラム」(中・高生、新世代と共に)が提案され、その案についてかなり白熱したディスカッションが定時を大幅に越えて行われました。

「賀茂川(鴨川)よりセーヌ河、そしてイムジン河へ」

当クラブ会員 ヴァイオリニスト ジョン チャヌ 丁 讚宇



東山銀閣寺と賀茂川との中間ほどの吉田というところに住んでいた私は1955年、満5才よりヴァイオリンの稽古を始めました。当時、在日外国人は、たとえ一流の大学を卒業しても就職が極めて困難であった為、手に職を持たざるを得ない、あるいは(専門的な知識を)と考えた両親は、私に音楽の早期教育をさせたのです。勿論、自分自身も音楽がきらいではなかったのですが、日毎の練習は続けられたのですが、近所の友達との遊びの時間がけずられる事には時々、駄々をこねたり、反発したりしたのを覚えております。

中学より東京の学校に通い、高校に進学するという時、一般受験が音楽学校への道かと悩みましたが、先生のすすめもあり、音楽で表現される汎民族的な、世界の共通のその可能性に夢を託そうと、プロの音楽家になるべく選択し、現在に至るまで関わりを持ち続けています。

桐朋学園大学に在学中、パリに留学し、パリ音楽院大学院を終了するまで約7年を、様々な見聞と、技術の習得、そして日本では仲々難しい「自由な発想で行動する」という事も学びました。音楽とは何か、人間とは、国とは、民族とは? 等々、西洋に身を置くことによって、自分の存在が浮きぼりにされるのを実感しました。丁度そんな頃、ソウルに居る知人のすすめと、私のルーツである韓国の歴史や文化を学び、祖国や自分の事をもっともっと知るべく1977年よりソウルに住むようになりました。オーケストラのコンサートマスターやソリスト、室内楽のリーダー、学校の教師などをしながら18年に及ぶ滞在でした。

2000年、「イムジン河」(38度線をはさみ北から南へ流れ、人が渡る事が出来ない河)をテーマに南北の統一コンサート、JR新大久保事故がきっかけになった日韓の友好コンサートや21世紀初めの広島、長崎での原爆追悼コンサートなど、人間の悲しさや、苦悩を通じて人間の善性や愛の力などをいかにメッセージ出来るかを試み続けています。

今後このような21世紀に持ち越された様々な痛みや問題を、私の演奏家としてのテーマ、ライフワークとして取り組んで行こうと思っております。

今後このような21世紀に持ち越された様々な痛みや問題を、私の演奏家としてのテーマ、ライフワークとして取り組んで行こうと思っております。

投票が終わり、ロータリー百周年記念公式ロゴが決定されました。(右)選ばれたロゴはウェブサイトと郵送により投げられた総計13,052票のうち、6,344票を獲得しました。RIはロータリー創立百周年が世界中の人々に認識されやすいようにする目的で、この公式ロゴを作成しました。クラブと地区は、ロータリー百周年に関連する全資料にこのロゴを使用するように奨励されています。ロゴの変更はできません。また、百周年に関連するその他のロゴの使用はお控えください。

奉仕の1世紀



実りの新世紀

公式ロゴはRIウェブサイトのダウンロード・センターから入手できます。印刷されたロゴシートが百周年記念事業推進キットに入っており、これは2002-03ロータリー年度の年初に全クラブに送付される予定です。

ロゴの崇決のほかにも、ロータリーの百年史の記念書籍の題名をロータリアンから募集しています。この本は、ロータリーの創立から100年の歴史を隈なく綴ったもので、2004年7月に発売されます。ロータリー百年史の記念書籍委員会のメンバーとロータリアン誌編集者は、ロータリアンの皆さまから独創的な題名が寄せられるのを待っています。上位5名には元RI会長諸氏のサインが入った皮表紙の本一冊が贈呈されます。

本の題名の募集締切は2002年7月31日です。寄せられた題名は全て国際ロータリーの所有となります。百年史の記念書籍委員会がロータリアン誌編集者の援助を受けて優秀作品を選考します。

(「Rotary World」より)

識字率を焦点に

7月は識字率向上月間です。地域社会で、読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。UNESCO(国連教育科学文化機関)によると、9億人以上の人々は、読み書きができません。その3分の2は女性です。成人そして子どもに向けて、読書のプログラムを企画することや学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館を援助することが要請されています。

【次週予告】7月26日 第756回例会  
第2回クラブ協議会  
「クラブ拡大について」

【例会後：13:10~15:00】

東京新南ロータリークラブ (http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth)

【会長】吉田用親 【副会長】小杉修造 【幹事】吉岡塚磨 【会報委員長】圓谷正和 【今週の担当】村山公士  
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp  
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111